

# 原発ゼロをめざす長野県連絡会

第18号  
2013.6.6

事務局 〒381-0034 長野市高田 276-8 長野県労連内  
TEL 026-223-1683 FAX 026-227-1783  
ホームページ <http://w2.avis.ne.jp/~krm-jim2>

## 6.2 NO NUKES DAY

### 原発ゼロをめざす中央集会、国会包囲行動！

6月2日に東京で「6.2 NO NUKES DAY」が取り组まれました。この行動は、脱原発をめざす、「原発をなくす全億連絡会」「首都圏反原発連合」「さよなら原発 1000 万人アクション」の3団体が共同して行動に取り組みました。連絡会は独自に明治公園で「原発ゼロをめざす中央集会」を開催し、全国から 18,000 人が参加し、集会とデモに続いて国会大包囲行動に合流しました。長野県からは、各地域・各団体から約 400 名が参加しました。

主催者挨拶で、長瀬文雄（全日本民医連事務局長）さんは、「安倍首相は安全を確認したら原発を再稼働させると発言し、電力会社は新基準の発表をまって再稼働を準備している。国民の声や被災者の思いに応えない政府や電力会社の姿勢を我々は絶対に許さない。今なお、16 万人が家を奪われ、不自由な避難生活を余儀なくされている。不十分な健康調査、不十分な損害補償のために、福島県民や国民の不安は計り知れない。福島県民の願いはただ一つ「元の生活に戻せ」ということ。原発は全く収束していない。さらに各地の原発の上に活断層が見つまっている。原発は経済の問題やエネルギーの問題ではない。人間の命の問題だ。一人一人は微力でも無力ではない。原発をなくすために力をあわせ、今日をその出発点にしよう。」と呼びかけました。

続いて共同行動の二つの団体から連帯の挨拶がありました。ミサオ・レッドウルフ（首都圏反原発連合）さんは、「野田元首相が再稼働を決定した時に、官邸前は人で溢れた。官邸前だけでなく全国で運動が広がり、民主党政権はいったんは原発ゼロを言いかけた。しかしアメリカと経団連の横やりで、閣議決定できなかった。一人一人の力は小さいが人の輪が大きくなることで、必ず政府を動かすことができる。自民党政権で原発ゼロの道が遠くなっているように感じるが、脱原発の志を持つ人数は変わっていない。強さと粘りがある限り私たちが脱原発を実現する希望は残っている。廃炉まで少なくとも 30 年はかかる。子どもたちに背負わせないために。せめて私たちが原発ゼロの政策転換をするところまではこぎつけたい。国会前でまたお会いしましょう。」

富山洋子（さよなら原発 1000 万人アクション、日本消費者連盟）さんは、「2 年経ても東北の方々の生活は厳しく、とりわけ福島の人たちの困難は計り知れない。原発事故は原発推進勢力と政府、東電が引き起こした人災。原発を止める大きな意思と願いを参議院選挙に結集しよう。安倍政権を退陣させよう。戦争も、核兵器も、原発もなくなさなければ、誰もが安心して暮らすことができる社会は実



現しない。死の灰を10万年は管理しなければならない。これを子どもたちに押し付けるのか。生き生きと暮らせる未来の社会を手渡すのか、私たちの行動が試されている。地域や職場で力強い取り組みを展開しよう。」と訴えました。



斎藤富春(ふくしま復興共同センター代表委員)さんが福島からの訴え。

4月27日に、警戒区域の変更で一部立ち入りが可能になった浪江町にいった。町並みは地震で倒壊したまま、沿岸から500メートルの請戸小学校の時計は、津波が到達した午後3時38分で止まったまま。復旧・復興などほど遠い。ただ一つの救いは、津波の時に請戸小には、2年生から6年生77人がいたが、防災無線の大津波警報で2キロも離れた山に走って避難し、全員が無事だったこと。

迫りくる津波から必死で山に逃げる子どもたちの姿を想像してほしい。巨大な自然災害から生き抜いた子どもたちの夢や希望、健康が、人災である原発事故で奪われることがあってはならない。

原発事故発生から2年以上たっても、ネズミが原因の冷却システム停止など重大なトラブルが相ついでおり、事故収束とは程遠い。増え続ける汚染水をどうするのか、県民の不安は高まっている。福島の教訓は、いったん過酷事故を起こせば、人間の手では制御できないのが原発事故。原子力規制委員会は過酷事故を前提とした新規制基準を7月から施工し、再稼働の審査を開始するとしているが、福島の事故に対応できずに、何が新基準か。何が再稼働か。私たちは7月から事故収束宣言の撤回、県内原発10基の廃炉、完全賠償を政府と東電に求める新たな署名運動を開始する。全県民、全国民に大きく打って出る。ともに頑張ろう。

さらに、福島の青年を代表して熊谷智さん、日本共産党の志位和夫さんが訴えをしました。

続いてのリレートークでは、原発無くそう九州玄海訴訟弁護団、愛媛県伊方原発をとめまっしょい若者連合、原発をなくす新潟県連絡会、島根原発エネルギー問題県民連絡会、埼玉県の放射能から子どもを守る会、各代表がリレートークしました。最後に千葉麗子さんがドラム隊とともに、熱く激しく「原発いらない」「大飯をとめろ」「再稼働反対」「子どもをまもれ」「未来が大事」とパフォーマンスしました。



国会包囲行動には6万人が結集し、国会包囲の完成を宣言しました